

第26期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）

貸借対照表及び個別注記表

株式会社三浦マニファクチャリング

貸借対照表

(2021年3月31日現在)

株式会社三浦マニファクチャリング

(単位：千円)

| 科 目 (資産の部) | 金 額 | 科 目 (負債の部) | 金 額 |
|-----------------|------------------|-----------------|------------------|
| 流動資産 | 3,663,198 | 流動負債 | 1,011,490 |
| 現金及び預金 | 1,125,706 | 買掛金 | 254,299 |
| 売掛金 | 785,964 | 未払金 | 79,685 |
| 製品 | 60,463 | 未払費用 | 127,531 |
| 仕掛品 | 315,930 | 未払法人税等 | 75,884 |
| 原材料及び貯蔵品 | 411,519 | 預り金 | 43,181 |
| 前払費用 | 1,119 | 賞与引当金 | 395,198 |
| 短期貸付金 | 946,023 | 未払消費税 | 33,380 |
| 未収入金 | 16,344 | 設備未払金 | 2,329 |
| その他 | 127 | 固定負債 | 38,987 |
| 固定資産 | 1,429,725 | 役員退職慰労引当金 | 38,987 |
| 有形固定資産 | 1,108,888 | | |
| 建物 | 84,567 | | |
| 構築物 | 4,943 | | |
| 機械装置 | 826,507 | | |
| 車両運搬具 | 8,613 | | |
| 工具器具備品 | 17,301 | | |
| 建設仮勘定 | 10,740 | | |
| 土地 | 156,215 | | |
| 無形固定資産 | 14,836 | | |
| ソフトウェア | 13,485 | | |
| その他 | 1,351 | | |
| 投資その他の資産 | 305,999 | | |
| 関係会社株式 | 1,000 | | |
| 長期前払費用 | 1,184 | | |
| 前払年金費用 | 183,154 | | |
| 繰延税金資産 | 120,660 | | |
| 資産合計 | 5,092,924 | | |
| | | 負債合計 | 1,050,478 |
| | | (純資産の部) | |
| | | 株主資本 | 4,042,446 |
| | | 資本金 | 50,000 |
| | | 資本剰余金 | 854,596 |
| | | 合併損益 | 854,596 |
| | | 利益剰余金 | 3,137,850 |
| | | 利益準備金 | 12,500 |
| | | その他利益剰余金 | 3,125,350 |
| | | 繰越利益剰余金 | 3,125,350 |
| | | 内当期純利益 | 137,634 |
| | | 純資産合計 | 4,042,446 |
| | | 負債・純資産合計 | 5,092,924 |

有形固定資産の減価償却累計額 2,895,053 千円

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

評価基準は原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)によっております。

| | |
|------------|---------|
| 製品、半製品、仕掛品 | 個別法 |
| 原材料 | 総平均法 |
| 貯蔵品 | 最終仕入原価法 |

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産(リース資産は除く)

定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

| | |
|-----------|-------|
| 建物及び構築物 | 3～31年 |
| 機械装置 | 6～13年 |
| 工具、器具及び備品 | 2～20年 |

②無形固定資産(リース資産は除く)

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づいております。

(3) 重要な引当金の計上方法

①賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、当期の負担すべき支給見込額を計上しております。

②役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づき当事業年度末における要支給額を計上しております。

③退職給付引当金(前払年金費用)

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異については、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(4年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生翌事業年度から費用処理しております。

過去勤務費用については、その発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により費用処理しております。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当会計年度末における普通株式の発行済株式の数

期末発行済株式数 1,000 株

(2) 当会計年度末における自己株式の数

該当ありません。

(3) 配当に関する事項

① 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 |
|------------------------------|-------|----------------|---------------------|----------------|----------------|
| 2020年 6月17日 定時株主総 会 | 普通株式 | 186,700 | 186,700 | 2020年 3月31日 | 2020年 6月18日 |

② 基準日が当会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌会計年度となるもの
2021年6月29日開催予定の定時株主総会の議案として、普通株主の配当に関する事項
を次のとおり提案しております。

配当金の総額 68,800 千円

1株当たりの配当額 68,800 円

基準日 2021年3月31日

効力発生日 2021年6月30日

(4) 当会計年度末日における新株予約権に関する事項

該当ありません。